

# 羽曳野荘だより

チャリティ蕎麦会特集号

児童養護施設 羽曳野荘

平成22年10月発行

## 達磨の会 チャリティ蕎麦会 建て替え工事がはじまりました

今年もチャリティ蕎麦会に大勢のご参加を賜り心より御礼申し上げます。年を増すごとに一段とお忙しくなっている名人高橋さん。お蕎麦の味も、年々進化を続けておられます。

さて、このチャリティ蕎麦会の目的である施設の建て替え工事がようやく今月から始まりました。

ここに至るまでには岡藤ご夫妻、高橋さんはもとより、本当にたくさんの応援・後押しがなくてはこれませんでした。

ここに深く感謝致します。

完成は平成24年3月で、その間不自由な生活をするようになりますが、子どもも職員も新しい建物で生活することを毎日夢見て、一日一日過ごしていきたいと思えます。今後とも引き続きのご指導ご支援をよろしくお願い致します。

来年の蕎麦会は、建て替え工事も半ばではありますが、新しいホールで開催しますので楽しみにしておいて下さい。



## 園長のちょっと聞いて！ 「ほんと、感謝です」のまき！

先日、私が学生の頃2歳で羽曳野荘にやってきて、13年間過ごした男の子が奥さんと子どもを連れてやってきました。食事をしているときに、「先生、保育園のそばの『ツザワ』（パン屋さん）知ってるやろ。僕な、あそこでよう万引きしたわ。そやけどツザワのおっちゃん、見てるのにだまってんねん。そのうちになあ、賞味期限が近くなったカップラーメンとか袋に入れてくれるねん。あのおっちゃんにはほんま悪いことしたし、感謝せなあかんわー。」こんな話をするのです。

私は箸が止まり、涙が込みあげ、少し言葉が出ませんでした。そして、ほんとに私達の知らないところで地域の多くの方々に、子ども達は見守られていることを再認識しました。

子どもへの指導や援助の方法はたくさんあります。万引きを見つけたときにすぐに叱る指導。「万引きしているの、見ているヨ。」と子どもに感じさせ、子どもが変わるのを辛抱強く待つ指導。どちらも正しい指導ではありますが、後者の指導はなかなかできません。

『ツザワ』さんには長い間ご迷惑をおかけしましたが、彼にとっては一生忘れることはない大事な指導を時間を掛けてしていただきました。

最近ケアが困難な子ども達も多く、日々失敗の繰り返し毎日が続いていますが、結果をすぐに求めるのではなく、時間を掛けて子ども達の心に届くケアを心がけたいと思います。



## 優良法人の知事表彰を受賞！

本年6月に大阪府知事より優良社会福祉法人として表彰を受けました。

羽曳野荘は、社会福祉法人としては一法人一施設でとても小さく、社会のニーズに十分お応えすることができていませんが、今回の受賞を励みに今後も職員力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

ありがとうございました。



贈呈は橋下知事ではなかったんです。ちょっと残念！

